

T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ 95号

発行責任者：事務局長 内 田 毅

事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail : jcaokayamaoffice@yahoo.co.jp

主な内容

- 2面 小池体制の2年を振り返る (2)
アンサンブルコンテスト成績
- 3面 約束と向き合った時間
全国大会報告 (こぶ)
- 4面 臨時総会報告
コンサート情報/編集後記

執行部「小池体制」の2年を振り返る

岡山県合唱連盟副理事長 松 下 泰 久

2月11日の倉敷芸文館における第23回のヴォーカルアンサンブルコンテストをもって平成27年度の岡山県連の主だった事業は終了した。

今年度を振り返ってみて一番大きなことといえば、岡山県連創立70周年記念関連の行事に向けて動き始めたことではないかと私自身は考えている。小池理事長を中心にした新しい体制になって2年、県連行事のルーティンとしては大きな変化はそれほどないといえないともいえる。しかし、理事長推薦の理事を改め「常任理事」の設置により若い力を組織の中にさらに取り込みやすくする方向へと舵を切った。また、この変革の先には次世代の県連の後継者育成という狙いもある。

従来行われてきた行事についても、具体的には各行事における観客の動員の在り方、たとえば末就学児童の入場をどのように扱うか、またそれを通じていかに我々の培っている「文化」を地域に発信していくかを理事会でも議論する機会が得られたことは貴重なことであったと思う。確かに、連盟会員の個々の思いは全て同じでない。会議での議論に参加した理事たちも、演奏以外の音（例えば、幼児の泣き声であるとか、大人であって も隣の観客とのひそひそ話であるとか）

によって日頃の練習の成果を客席のみんなに届けられないジレンマもあり得るという懸念を十分に理解している。かく言う私も自分の所属する団体が演奏している最中に、いわゆる観客側のマナー上のトラブルにより「残念な思い」をしたこともある。その意味では「手放しの賛成」ではない。ただ、例えば6月のフェスティバルについては、演奏する側、そして自分の合唱活動が続けることを支えてくれている家族、友人たち、いわゆる「応援団」側にとっての理解の得られる場でもある。それを考えたとき、その人たちを招いて一体となって演奏を楽しめる「ホールの間」であることも今後の私たちの地域への発信力の一つとなり得ると考える。だから、もちろん見も知らぬ観客同士がきちんとした演奏を聴けるよう助け合いのできる空間づくり、言い方を変えれば観客自身のマナーの向上にもつながる工夫を我々自身が運営の中で（スタッフの配置など簡単ではないが）実現していかなくは閉鎖的な文化団体になってしまうおそれもある。尊大な言い方かも知れないが、岡山県連としての度量の見せ所であり、何年か先の連盟会員の発掘の場であり、それにより県連の拡大につながることを期待する。

話がアンコンに戻るが、岡山県連でのアンコンスタ



ートから約4半世紀が経過した。岡山での開催前、まだ理事であった頃の小池現理事長が当時の近藤理事長からの依頼で東北支部のアンコンの視察に訪れ、そこで得たノウハウにより岡山でのアンコン開催が実現した。岡山においてアンコンが始まった当初は参加

団体も少なく、演奏技術もそれほど高いものではなかったと小池理事長も述懐しているが、現在ではエントリーが約80団体、今回も朝9時過ぎに演奏を開始し、演奏が終わったのが午後7時頃、コンテストを審査した先生方はもちろん運営を支えてくれたスタッフたちの疲労はいかほどのものだっただろう。それでも来年も続けていき、岡山の文化力が福島で披露されることを楽しんでいる。

今回の審査員の一人、東北支部長の菅野正美先生は合唱王国福島で長い間高校現場で教鞭を執られ、高校部門でも数々の賞を生徒たちと手にされた方だが、実は小池理事長が視察に訪れた時の「チューター」役であった。今の岡山のアンコンの盛況ぶりはこの菅野先生の「福島」によるところも大きいといえるかも知れないが、開会式前、私はその菅野先生と少しお話をさせていただいてふと思いついたことを開会の挨拶の中で次のような内容として述べた。――東北震災後全国男声合唱フェスティバルに岡山県の代表団体として参加するために平成24年12月に福島の会津を訪れた。以前の県連のT u t t iや全日本の『ハーモニー』にも書いたのだが、震災後1年を経ても町中にはブルーシートが目につき、完全復興には遠い実感を持った。あれから3年と少し経つが福島や東北の街は今どうなっているのだろう。岡山県連の代表として参加される方々は是非福島の街を見てきて欲しい。そしてそれを岡山の人々に伝えて欲しい。そして合唱の縁で福島と岡山をつなぐきっかけを作って来て欲しい。平和に歌える喜びを分かち合って来て欲しい――

震災の後、福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生と、音楽教諭の小田美樹教諭によって作られた合唱曲『群青』の歌詞の中にこんなフレーズがある。――響けこの歌声 響け遠くまでも あの空の彼方へも 大切な全てに届け――もちろん歌詞は被災によりバラバラになったクラスメイトを思い起こす内容ではある。しかし、自分に置き換えたとき、合唱をする、しないに関わらず「同じ時代を生きる仲間」として何を共有するか？何を届けるか？それを考える上で、福島でのアンコン全国大会は大きなきっかけになるような気がしている。もちろん数々の名演奏を楽しんで来て欲しいのも事実ではあるが。

結びとして、話を県連創立70周年記念行事に戻そう。モーツァルトの「レクイエム」演奏を皮切りして演奏会の企画・実施が進行中である。先人たちの努力により「古稀」を迎えようとしている県連は、次世代の育成を急務としている。そのため、私たちの演奏のサポーターである人々がいつかは歌う仲間になっ

ているように、体制作りを見直す必要もある。記念演奏会もどうであれば「成功」と評価され、次につながるのか。それを確実に実行に移す小池体制も4月からは2期目に突入する。抱える課題も大きい。

さて、私にできることは何だろうか？あなたは？

第23回岡山県 ヴォーカルアンサンブルコンテスト (成績とお詫び)

2月11日、倉敷市芸文館で標記大会が開催されました。今年は80団体のエントリーがあり、9時間及ぶ大会でしたが、各部長を中心に整然とした運営がなされ、予定通りに無事終了しました。

その中で審査発表においてミスがありました。

混声合唱部門において、優秀賞は“こぶ郎丸さん”でしたが、“F l ü g e l”と発表してしまいました。両団体にはお詫びと訂正を申し入れました。そしてこぶ郎丸さんには新しく賞状とトロフィーをお渡ししました。全国大会への推薦について希望の有無がありますので問題はありませんでした。

今後このような単純なミスの起こらないよう、チェック体制を強化して運営に当たりたいと思います。申し訳ありませんでした。(事務局内田)

第23回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト結果一覧【金賞のみ】				
部門	演奏順	団 体 名	金	
重 唱	6	倉敷少年少女NONET	○	優秀賞
	9	ラフ ポーチェ	○	
	11	felice	○	
	12	Forever	○	
ジュニア	5	NODUS	○	
	7	総社西中学校コーラス部Team-R	○	
	12	一音入魂#	○	
	16	倉敷少年少女ジュニア	○	優秀賞・全国
	18	きびだんご(16個入り)	○	
	20	総社西中学校コーラス部Team-T	○	
高 校	5	なべの恩返し	○	
	6	Shujitsu voix angelique	○	
	10	しーろくーろつーけなーいgreatおーれ♪	○	優秀賞・全国
	12	ww.temkijoto	○	
	13	Fujinoria Family	○	
	15	てんてんてんこ	○	
女 声	2	こーろ・ぶーろ	○	
	3	anima。	○	
	6	La Voce 第二章	○	
	8	くらしき作陽大学女声合唱団II magazzino	○	
	14	倉敷少年少女シニア	○	優秀賞
	15	La Voce 第一章	○	
男 声	1	音羅(Onra)ヴォーカル・アンサンブル	○	優秀賞
	4	くらしき作陽大学男声合唱団II magazzino	○	
混 声	3	こぶ郎丸	○	優秀賞
	4	Flügel	○	優秀賞・全国
	8	Dianthus Cantante	○	

「約束」と向き合った時間

～第68回全日本合唱コンクール全国大会報告～

合唱団こぶ（指揮者）：大 山 敬 子

平成27年11月22日、全国大会（室内合唱・大学・ユース・一般部門）最終日の幕閉じる。

70年前の原爆の爆心地近くに立つ長崎ブリックホールは祈りと慈愛につつまれていました。

会場にいる全員で歌う「Ave Verum Corpus」は無上の静けさと美しさを放ちました。次のフレーズを歌おうとして口をあけた瞬間、涙がこぼれました。戦後70年の今年、長崎での全国大会でいただいた、かけがえのない音楽となりました。

その意味深い舞台で演奏させていただいた自由曲が「約束」です。病と闘いながら、生と死を見つめ続けた淵上毛銭の詩をもとに、熊本県立第一高等学校合唱団が瑞慶覧尚子氏に委嘱されたこの作品は女声合唱として作曲されました。その素晴らしい音世界に魅せられ、「こぶで歌いたい！」との思い止まず、混声合唱への編曲をお願いすることになったのです。

瑞慶覧先生と曲についてやりとりをしていくうちに、たったひとつの音符の持つ立体感や時間経過のようなもので、その音楽は私たちに求めて来始めました。それに応える技術を問われる苦しい練習となりました。また一般の合唱団という「集まってなんぼ」の世界の持つ苦勞、14歳から58歳までのメンバーの時間や思いを束ねることの難しさに心が折れそうになることもありました。

そんなとき、いつのまにか「約束」の楽譜と向き合っていたのでした。「いい音楽しよう！」たったそれだけの「約束」で結ばれているわたしたちは、この二つの「約束」に導かれ、長崎へ行かせていただきました。その道のりにいつもある、岡山県合唱連盟の皆様、合唱仲間の皆様の応援に心から感謝いたします。たくさんの方を吸収させていただいたこの経験を、新たな場面で生かしていきたいと思います。ありがとうございました。



臨時総会開催

～新役員・理事選出される～

去る1月10日、岡山県合唱連盟臨時総会が開催された。主な議題は、平成28年度、29年度の岡山県合唱連盟を率いる役員・理事の改選であった。理事長、副理事長は現職の立候補及び推薦により、再任が決まりました。理事も一般・おかあさん部門では立候補が多くあり、比較的すんなりと選出されました。選出された理事団体及び理事は右表のとおりです。空欄の部分は総会では発表できると思います。

さて、新理事の任期は大変に忙しい2年間となりそうです。通常の事業以外に今年9月には「中国合唱コンクール」、来年8月には「おかあさんコーラス全国大会」を開催しなければなりません。そして来年の連盟創立70周年に関連して、記念演奏会合同合唱の練習、記念誌の発行準備、記念表彰等の対象者リストアップ等々、やることが山積しています。

私としては山田さん、西山さんの事務局長経験者が理事として理事会に入っていただき心強く感じているところですが、それだけでたくさんの事業が運営できるわけではないので、それぞれの事業、特に特別事業の関しては退任される理事にも実行委員会に入っていただくことが必要になると考えています。このことは理事経験者だけを対象としているものではありません。連盟を挙げて運営への協力をいただけるよう、情報発信に努めてまいります。

【編集後記】

2月発行予定がどんどんずれて3月半ばとなってしまいました。私事ですが2月の終わりの「倉敷市合唱連盟40周年記念演奏会」、3月上旬には「岡山バッハ・カンタータ協会」の演奏会が4回あり、しかも東北3県巡業で岡山を離れていましたので編集作業が止まってしまったのが原因です。申し訳なく思っています。

さて、第69回岡山県合唱フェスティバルについて、ひとつお断りしておかなければなりません。それは合唱講習会とその発表演奏についてです。一昨年、昨年と源田先生、辻先生を迎えて行ってきた講習会は今年に関しては考えていません。というのは秋に「モツレク」の演奏会があるからです。モツレクの合唱指導をお願いしている佐々木正利先生に、フェスの講評者をお願いし、現在練習しているモツレク合唱団と岡山バッハ・カンタータ協会との合同合唱でレクイエムの前半を演奏することにしています。例年のような講習会を楽しみにしておられる声もお聞きますが、ご容赦ください。

(事務局長 内田)

平成28・29年度 岡山県合唱連盟役員名簿		
役職名	新役員	
理事長	小池 芳弘	
副理事長	長尾 節子	
〃	松下 泰久	
〃	内田 毅	
監 事		
〃		
事務局長	内田 毅	
理事	理事団体名	理事名
ジュニア	倉敷少年少女合唱団	難波 夕鼓
中学校	総社東中学校	山田 瑞穂
	総社中学校	大山 裕太
高等学校		
大学	岡山大学グリークラブ	
	岡山大学男声合唱団コールロータス	
	川崎医科大学混声合唱団フェッセル	
	くらしき作楽大学合唱団イル・マッソニーノ	
一般	岡山市民合唱団簫羽	今福 茂樹
	倉敷男声合唱団	西山 隆幸
	コール・ゆうぶんけん	山田 威夫
	Coro Place	平井 由美
	Flügel	山下 智義
おかあさん	コールあまくさ	松葉 節子
	山陽女声コーラス	友實 泉
	コール・サファイア	三好 裕美
	コール・ファミーユ	小澤 順子
	U-mammy's	近藤 典子
常任理事	氏 名	所属団体
	石田 享子	コール・ココ
	藤原 努	合唱団こぶ
	保田 薫	津山市民コール「アンダンテ」
	脇本 恵子	倉敷コールライネ

CONCERT INFORMATION

<p>Coro Place 10 周年記念コンサート</p> <p>と き 2016年4月2日(土) 15:00 開演 ところ 倉敷市芸文館ホール 曲 目 A Little Jazz Mass、倉敷男声合唱団賛助出演 信長高富／「赤い鳥小鳥」(雨森文也指揮) 信長貴富／「くちびるに歌を」 入場料 1,500円(学生:1,000円) お問い合わせ 086-544-0737 (奥村)</p>	<p>倉敷少年少女合唱団 第40回記念定期演奏会 「美女と野獣」</p> <p>と き 2016年4月24日(日) 14:30 開演 ところ 倉敷市民会館大ホール 曲 目 40回記念ミュージカル「美女と野獣」 ゲスト カウンターテナー 岡 友一 入場料 無料(整理券) お問い合わせ 080-5612-7682 (難波)</p>
<p>倉敷コールクライネ 第34回定期演奏会</p> <p>と き 2016年5月15日(日) ところ 倉敷市芸文館ホール 曲 目 Messe in A 女声合唱曲「六つの子守歌」 今日の気分は!! マリンバ演奏 お問い合わせ 086-422-7604 (吉田)</p>	<p>次回のTutti第96号は5月に発行する予定です。 お気軽に原稿をお寄せ下さい。(4月中にお願いします。) 【原稿送付先】 〒703-8262 岡山市中区福泊168-7 内田 毅 FAX: (086)274-2726 携帯: 090-4695-7826 携帯mail: uchida244z@docomo.ne.jp PCmail: utida244@yahoo.co.jp 写真を載せる場合はなるべくサイズの大きい写真をプリント又はデータとして送ってください。</p>